

個人保証制度に関する調査

2013年1月

調査主体 経済産業省 中小企業庁 事業環境部 金融課
 調査委託先 株式会社リベルタス・コンサルティング

【ご協力をお願い】

中小企業における個人保証（経営者本人保証）には、中小企業の経営への規律づけや信用補完として資金調達の円滑化に寄与するといった面がある一方、チャレンジングな事業展開や保証後において経営が窮境に陥った場合に早期の再生を阻害する要因となっている等、中小企業の活力を阻害するといった面もあります。そこで、個人保証に対する正確な現状把握を行い、中小企業金融の実務の円滑化に向けて、どのような解決策が考えられるのかを明らかにするためアンケートを実施することになりました。つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力をお願い申し上げます。

ご回答内容について、すべて統計的に処理し、回答企業及び個人が特定されるような形で公表することは一切ございません。

なお、本調査は、**中小企業庁**が調査主体として実施するものです。アンケートの送付・回収、集計などの取りまとめについては、民間の調査研究機関(シンクタンク)である「株式会社リベルタス・コンサルティング」が実施いたします。

【ご回答の注意点】

- 本調査は、**経営者の方**がご回答ください。
- ご記入が завершиましたら、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて**2月1日(金)**までに投函してください。

本アンケート調査についてご不明な点、ご質問等がございましたら、下記【調査実施に関するお問合せ先】までご連絡をお願いいたします。

【調査内容(調査の趣旨・目的等)に関するお問合せ先】

○経済産業省 中小企業庁 事業環境部 金融課
 〒100-8912 東京都千代田区霞が関 1-3-1
 担当者: 阪田、森本、井上、堀、犬飼
 TEL: 03-3501-2876

受付: 平日 10:00~17:00(土・日・祝を除く)

【調査実施に関するお問合せ先】

○株式会社 リベルタス・コンサルティング
 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-18-2
 新橋NKKビル 7階
 担当者: 八田、菊池
 TEL: 0120-575-334(フリーダイヤル)
 受付: 平日 10:00~17:00(土・日・祝を除く)



I はじめに、貴社の概要についてお聞きします。

【問1】 貴社の本社が所在する都道府県をご記入ください。（自由記述）

--

【問2】 貴社の会社形態についてお答えください。（○は1つ）

- | | |
|---------|----------------|
| 1. 株式会社 | 4. 合資会社 |
| 2. 有限会社 | 5. 個人事業主（個人経営） |
| 3. 合名会社 | 6. その他（ ） |

【問3】 貴社の業種について、最も当てはまるものを1つお選びください。（○は1つ）

- | | | | |
|----------|---------------|---------------|---------------|
| 1. 建設業 | 5. 卸売業 | 9. 宿泊業 | 13. 医療、福祉 |
| 2. 製造業 | 6. 小売業 | 10. 飲食サービス業 | 14. その他のサービス業 |
| 3. 情報通信業 | 7. 不動産業・物品賃貸業 | 11. 生活関連サービス業 | 15. その他 |
| 4. 運輸業 | 8. 専門・技術サービス業 | 12. 教育、学習支援業 | （ ） |

II 金融機関からの借り入れについてお伺いします。

【問4】 現在、金融機関からの借り入れはありますか。（○は1つ）

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない | ⇒問22へ |
|-------|-------|-------|

（以下、問4で「1. ある」と回答した方のみお答え下さい）

【問5】 （メインバンクについてお答えください）金融機関は、貴方（経営者ご本人）の個人資産の額を把握していると感じますか。（○は1つ）

- | | | |
|--------------|---------------|----------------|
| 1. 正確に把握している | 2. ある程度把握している | 3. あまり把握できていない |
|--------------|---------------|----------------|

※借入シェアの大小に関わらず貴社がメインバンクと認識している金融機関をメインバンクとしてください。

【問6】 （メインバンクについてお答えください）金融機関に対して、貴方（経営者ご本人）の個人資産の額に関する情報を開示していますか。（○は1つ）

- | | | |
|---------------|-----------------|------------|
| 1. 積極的に開示している | 2. 求めがあれば開示している | 3. 開示していない |
|---------------|-----------------|------------|

※借入シェアの大小に関わらず貴社がメインバンクと認識している金融機関をメインバンクとしてください。

【問7】 貴方（経営者ご本人）個人資産の内容を把握できる資料として、金融機関に提示している資料についてお答えください。（あてはまるもの全て）

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 納税証明書 | 5. 株、有価証券等の証明書 |
| 2. 確定申告の書類 | 6. 不動産等の証明書 |
| 3. 源泉徴収票 | 7. その他（ ） |
| 4. 預金額等（通帳の写し） | |

【問8】 借り入れの際、金融機関へ個人保証（経営者本人保証）の提供を行っていますか。（○は1つ）

- | | | | |
|----------|------|-----------|---------|
| 1. 行っている | ⇒問9へ | 2. 行っていない | ⇒付問8-1へ |
|----------|------|-----------|---------|

(問8で「2. 行っていない」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 8-1】 個人保証（経営者本人保証）を行っていない理由（金融機関から個人保証を求められない理由と想定される事柄）をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

1. 財務内容が良好である	6. 業種の信用リスクが低い
2. サラリーマン社長である	7. 必要な財務情報が適時開示できている
3. 上場している・上場準備中	8. 経営者個人の信頼性
4. 担保での保全が十分である	9. 事業年数が長い
5. 会社保有資産が多い	10. その他（ ）

⇒問18へお進みください。

(問8で「1. 行っている」と回答した方のみお答え下さい)

【問9】 個人保証の提供先をお答えください。（あてはまるもの全てに○）

1. メインバンク	3. 1. 2. 以外の取引行の全て
2. 準メインバンク	4. 1. 2. 以外の取引行の一部

※借入シェアの大小に関わらず貴社がメインバンク、準メインバンクと認識している金融機関を、それぞれメインバンク、準メインバンクとしてください。

【問10】 現在の借り入れの際の①借入方法と②保証形態をお答えください。

	①借入方法 (それぞれ1つに○)	②保証形態 (あてはまるもの全てに○)
a.証書借入	1. ある 2. ない	1. 根保証 2. 特定債務保証 3. その他（ ）
b.手形借入	1. ある 2. ない	1. 根保証 2. 特定債務保証 3. その他（ ）
c.当座貸越	1. ある 2. ない	1. 根保証 2. 特定債務保証 3. その他（ ）
d.その他（ ）	1. ある 2. ない	1. 根保証 2. 特定債務保証 3. その他（ ）

【問11】 個人保証の総額は、借入額のおよそ何%ですか。（数字を記入）

%

※根保証で、借入額<極度額の場合は（例えば）『200%』等とご回答下さい。

【問12】 個人保証の総額は、貴方（経営者ご本人）の個人資産と比べた場合、以下のどれにあてはまりますか。（○は1つ）

1. 個人資産と比べて多い	2. 個人資産と同じくらい	3. 個人資産と比べて少ない
---------------	---------------	----------------

【問13】 貴方（経営者ご本人）が個人保証以外に提供している物的担保についてお答えください。（あてはまるもの全て）

1. 自宅の建物	4. 自宅以外の土地
2. 自宅の土地	5. その他（ ）
3. 自宅以外の建物	6. 物的担保は提供していない

【問 14】 金融機関が代表者保証を求めた理由として、金融機関から受けた説明の内容をお答えください。

(あてはまるもの全て)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 経営者への規律付けのため | 4. 財務諸表の信頼性担保のため |
| 2. 債権の保全のため | 5. その他 () |
| 3. 会社の信用力補完のため | 6. 特に説明は受けていない |

【問 15】 金融機関へ個人保証（経営者本人保証）の解除を要請したことはありますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------|
| 1. ある | 2. ない | ⇒問 16 へ |
|-------|-------|---------|

(問 15 で「1. ある」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 15-1】 個人保証（経営者本人保証）の解除を要請した理由をお答えください。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 財務内容が良好になった | 5. 保証額を上回る評価額の担保ができた |
| 2. 他行に経営者保証を提供していない | 6. 会社保有資産が増えた |
| 3. 経営者の交代があった | 7. その他 () |
| 4. 上場することになった | |

【付問 15-2】 個人保証（経営者本人保証）の解除要請に対する金融機関の対応をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| 1. 受け入れられた ⇒付問 15-3 へ | 2. 受け入れられなかった ⇒付問 15-4 へ |
|-----------------------|--------------------------|

(付問 15-2 で「1. 受け入れられた」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 15-3】 個人保証（経営者本人保証）の解除要請が受け入れられた理由（と想定される事柄）をお答えください。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 財務内容が良好である | 7. 業種の信用リスクが低い |
| 2. 他行に経営者保証を提供していない | 8. 必要な財務情報が適時開示できている |
| 3. サラリーマン社長である | 9. 経営者個人の信頼性 |
| 4. 上場している・上場準備中 | 10. 事業年数が長い |
| 5. 新しい担保を差し入れた | 11. その他 () |
| 6. 会社保有資産が多い | |

⇒問 16 へお進みください。

(付問 15-3 で「2. 受け入れられなかった」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 15-4】 個人保証（経営者本人保証）の解除要請が受け入れられなかった理由（と想定される事柄）をお答えください。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 財務内容に問題がある | 7. 業種の信用リスクが高い |
| 2. 他行にも経営者保証を提供している | 8. 必要な財務情報の開示ができていない |
| 3. 創業者、もしくは創業者の親族である | 9. 経営者個人の信頼性が低い |
| 4. 上場していない | 10. 事業年数が短い |
| 5. 担保での保全が不十分 | 11. その他 () |
| 6. 会社保有資産が少ない | |

【問 16】 個人保証を提供する際、または提供していて困ったことをお答えください。

(あてはまるもの全て)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 精神的負担が大きい | 4. 経営陣の世代交代が難しい |
| 2. 家族の理解を得づらい | 5. 新しい資金提供者を見つけにくい |
| 3. 他行からの新規融資が受けにくい | 6. その他 () |

【問 17】 経営者本人保証を提供しなくても、現在と同等の融資取引が受け入れられると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 受け入れられると思う | 2. 受け入れられると思わない |
|---------------|-----------------|

Ⅲ 第三者保証についてお伺いします。

【問 18】 (最も借入額が多い契約についてお答えください) 借入れの際、金融機関に第三者保証を提供していますか。

(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1. している | 2. していない | ⇒問 22 へ |
|---------|----------|---------|

【問 19】 第三者保証人の属性をお答えください。(あてはまるもの全て)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 代表者の親族 | 4. 資本関係のある企業 |
| 2. 代表者親族以外の役員 | 5. その他 () |
| 3. その他の個人 | |

【問 20】 第三者保証を提供した経緯は、以下のどれにあてはまりますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 自分から提供を申し出た | ⇒付問 20-1 へ |
| 2. 第三者が積極的に提供を申し出た | ⇒問 21 へ |
| 3. 金融機関から求められた | ⇒付問 20-2 へ |

(問 20 で「1. 自分から提供を申し出た」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 20-1】 第三者保証の提供を申し出た理由をお答えください。(あてはまるもの全て)

- | |
|------------------------------|
| 1. 金融機関からの資金調達を円滑に進めるため |
| 2. 個人保証(経営者保証)では担保評価額が不十分なため |
| 3. その他 () |

⇒問 21 へお進みください。

(問 20 で「3. 金融機関から求められた」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 20-2】 金融機関から第三者保証を求められている理由(と想定される事柄)をお答えください。

(あてはまるもの全て)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 債権の保全のため | 4. 経営者と企業の一体性が強い |
| 2. 会社の信用力が低い | 5. 経営責任の明確化のため |
| 3. 経営者の信用力が低い | 6. その他 () |

⇒問 21 へお進みください。

【問 21】（最も借入額が多い契約についてお答えください）第三者保証に物的担保を提供してもらっていますか。（○は1つ）

1. している

2. していない

⇒ 問 22 ^

(問 21 で「1. している」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 21-1】第三者が物的担保を提供している際に、同時に連帯保証を提供していますか。

1. している

2. していない

Ⅳ 個人保証（経営者保証）に関するご意見についてお伺いします。

(全員がお答え下さい)

【問22】 個人保証（経営者本人保証）は、必要だと思いますか。（○は1つ）

1. 必要である $\Rightarrow$ 問 2 3 へ

2. 必要はない

⇒ 付問 2 2-1 ^

(問 22 で「2. 必要はない」と回答した方のみお答え下さい)

【付問 22-1】個人保証がない場合、金融機関としては、債務の保全を行うことができなくなるため、リスクを穴埋めするために、①適用金利の上昇、②借入限度額の減額、延いては、融資の申し出の謝絶等の対応を行う可能性があります。

①②のケースにおいて、どの程度の影響であれば、個人保証（経営者本人保証）の廃止を望みますか。

①適用金利の上昇	1. 上昇するなら保証廃止は不要 2. 0.5%以内の上昇 3. 1.0%以内の上昇 4. 1.0%以上の上昇でも可（ ____%まで可） 5. その他（ _____ ）
②借入限度額の減額	1. 減少するなら保証廃止は不要 2. 10%減以内 3. 30%減以内 4. 50%減以内 5. 50%減以上でも可（ ____%減まで可） 6. その他（ _____ ）

【問 23】 金融機関からの借り入れや個人保証制度に関するご意見・ご要望等がございましたら記入してください。(自由記述)

[illegible]

V 貴社の意思決定プロセスについてお伺いします。

【問 24】 事業運営にあたり重要な意思決定はどのように行っていますか。

- | | |
|--------------------|---------------------------------|
| 1. 経営者自身が単独で決定している | 3. 親族等と相談し決定している |
| 2. 取締役会等を開催し決定している | 4. 外部（金融機関・税理士等）の意見を参考にして決定している |

【問 25】 取締役会等はどのように運営していますか。

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 法令等に基づき定期的に開催している | 3. 開催していない |
| 2. ほとんどの場合、書面開催としている | 4. その他（ ） |

【問 26】 取締役や経営幹部に対して、経営課題等について報告・相談をしていますか。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 全ての課題について行っている | 3. ほとんどの場合、事後報告である |
| 2. 必要に応じて行っている | 4. 報告・相談は行っていない |

VI 最後に、貴社及びご回答者様についてお聞きします。

【問 27】 貴社について下記にお答えください。

貴社名			
所在地	〒		
創業年（西暦）	年	資本金	円
直近決算	西暦 20 年 月	売上高（直近）	百万円
総資産額	百万円	営業利益（直近）	百万円
総有利子負債額	百万円	経常利益（直近）	百万円
自己資本額（純資産額）	百万円	当期利益（直近）	百万円
常用雇用者数	人		
直近 3 期の決算 貸借対照表（B/S） （○は 1 つ）	1. 3 期連続資産超過 3. 債務・資産均衡 5. 3 期連続債務超過 2. 直近 1～2 期資産超過 4. 直近 1～2 期債務超過		
直近 3 期の決算 損益計算書（P/L） （○は 1 つ）	1. 3 期連続黒字 3. 収支均衡 5. 3 期連続赤字 2. 直近 1～2 期黒字 4. 直近 1～2 期赤字		

※ご不明な項目については、おおよその数値で結構です。

※常用雇用者にはパート／アルバイトは含み、事業者本人／役員／その他家族従業者／派遣労働者／臨時雇用者等は含みません。

〔連絡先〕 ご回答をとりまとめていただいた方の連絡先をご記入ください。

ご回答者氏名		ご所属部署・役職	
電話番号			
メールアドレス			

ご協力いただきありがとうございました。